

Check it!

あなたも
ブロザーの
仲間にあります

採用情報

【仕事内容】

お客様からお預かりした品物や部品に、高度な技術でメッキ加工を施し、加工後の製品をお返しするお仕事です。

【求める人物像】

- ものづくりの面白さに興味がある方
- 一つのことにつこだわりを持てる方
- 自分なりの工夫ができる方

 株式会社 ブラザー
BROTHER CO., LTD.

社名 株式会社 ブラザー

創業 1955年

資本金 2,000万円

従業員数 50名

代表取締役社長 石田 幸兒

ISO認証 ISO9001 2003年5月認証取得

ISO14001 2004年12月認証取得

事業内容 (1) 半導体製造装置関連の精密・厚付無電解ニッケル及び大型無電解ニッケルの表面処理加工

(2) セラミックス上の無電解ニッケル、特殊表面処理加工

(3) エンジンのシリンドー内面の硬質クロム

表彰・認定

・神奈川県優良工場

・川崎市優良企業

・神奈川県知事指定 かながわ中小企業モデル工場

・川崎ものづくりブランド

本社所在地 〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町3-8

TEL: 044-322-7571 FAX: 044-322-7780

アクセス



【バスでお越しの場合】

JR川崎駅東口バスターミナル8番乗り場で「川22系統 三井埠頭行」に乗車、「浜町二丁目」または「浜町三丁目」停留所下車(バス乗車時間約15分)、バス停より徒歩約7分

【お車でお越しの場合】

首都高速湾岸線神奈川1号線(横羽線)
・東京方面から ⇒ 出口「浜川崎」にて下車、Uターンして東京方面へ直進
・横浜方面から ⇒ 出口「浅田」にて下車、直進



BROTHER CO., LTD.
RECRUITMENT INFORMATION

ブロザーと縁と
仕事を実感しよう。

Hey, BROTHER!
Recruitment info.



www.brotherplating.co.jp

Hey, BROTHER!



Brother's Advance

難素材のメッキもお任せ！

セラミックスやカーボンへのメッキは高度な技術が必要ですが、そんな「難素材」に対応できるのも私たちブラザーの強みです。



営業部部長
石井
X
新井
製造部バテラン

二人は、“バリバリブラザー”。
新技術を先導する実力派コンビです。

石井：僕らは転職組だけれど、実はウチに来る前に一度出会っているんだよね。

新井：そうそう「ハイテクノ」(メッキの上級技術を習得する講座)でだったね。受講者は、それこそ大学院を出た技術者や学者みたいな人ばかり。その中で、毛色の違う人がいるなと思ったのが石井さんだった。一人だけ浮いていたから(笑)。

石井：それはお互い様だよ。僕も同じことを思ったんだから(笑)。まさかこの会社で再会するとはね。初対面の時から只者じゃない雰囲気を漂わせていたけれど、新井さんは「電気メッキ 1 級技能士」。金メダル級のメッキ職人だから営業の僕としても期待しているんだ。今度、ウチの成長株である「ファインブラック®」の新ラインを担当してくれるんだよね。

新井：任せてください！僕は必要とされたら、俄然燃えるタイプですから。前の会社は「電気」でしたが、こっちは「無電解」。同じメッキでも実は全然違うので転職にはちょっと悩んだけど、社長に「来てくれないか」と請われたからやるしかないって。

石井：前の会社と比べてウチの会社はどう？

新井：僕の技術提案も受け入れてくれるし、設備投資もしてくれるし。仕事をやればやるだけ評価されるから、もう天国です(笑)。

石井：僕も新井さんだと安心して任せられるし、ウチの会社のムードメーカーとしても期待しているんです。

新井：そう言ってもらえるのは僕自身が楽しく仕事できているからかな。石井さんは、現場の提案に対するお客様への確認・調整もスピーディでウチとお客様をつなぐかけがえのない存在。技術面での理解も深いから分かり合えるんだ。

石井：お互い働き盛りの 40 代。会社を引っ張る要として、これからもバリバリいきたいよね。



Brother's Advance

国内有数の超大型メッキ加工設備

大型の半導体・液晶製造装置などに均一かつ厚付けメッキができる技術が認められ、「川崎ものづくりブランド」として認定されました。

営業本部長
伊藤
X
宮下
製造部

Scene. 2

我ら、“メラメラブラザー”。
世代は違えどメッキにかける情熱は同じ！

伊藤：僕は 65 歳、宮下は 32 歳。こんなに年が離れているのに“ブラザー”だなんて言つていいのかな(笑)。実際のところ宮下は僕の息子のようなもので、よく飲みに連れまわしていると言ったほうが正解だよね。

宮下：伊藤さんこそ営業の責任者でとても偉い人なのに気軽にお誘いいただき、ごちそうになってばかりで申し訳ありません。

伊藤：気にしない、気にしない。僕も若いころは先輩によくおごってもらったもんだよ。「お前は電車賃だけ心配すればいいんだから」って。その恩返しを今度は後輩にしようと思ってやっているだけなんだ。宮下は若くして家庭を持って、家も建てたしね。まだ遊びたい盛りなのにいつも感心しているんだ。だから、たまには息抜きさせてあげたいと思うのは親心というもんだよ。

宮下：ありがとうございます。伊藤さんは誰にでもフレンドリで面倒見がいい親分。僕も困った時にまず相談するのが伊藤さんです。高卒から働いていますが、ずっと甘えてし

まってばかりですね。

伊藤：なんだか、お互いのほめ合いになってきたぞ(笑)。ちょっとは仕事の話をしようじゃないか。

宮下：そうですね。僕は半導体製造装置や液晶製造装置などの部品をメッキする現場で働いています。うちの会社の強みを一番発揮できる部署である一方で、高価な装置に使われる部品にメッキするので、品質などにとても神経を使います。その営業を指揮する伊藤さんのプレッシャーも相当でしょうね。

伊藤：そりゃあ大変なこともあるけれど、国内でも数社しか持っていない技術のセールスを任せられているんだからやりがいの方が大きいよ。僕は営業、宮下は現場。これからも世代を超えて一緒に頑張っていこうじゃないか！

Hey, BROTHER!





僕たち、“ワイワイブラザー”。
似た者同士、飲みの場では盛りあがっこります。

富澤：僕は営業、菅原さんは「硬質クロム」の現場。仕事は違っても二人とも大手のお客様のモノを扱うリーダーの立場だから、やりがいを感じると同時にプレッシャーも感じるよね。

菅原：富澤さんは半導体・液晶製造装置のトップメーカーを相手に日々営業活動しているわけだから、プレッシャーは僕の比じゃないですよ。

富澤：お互いに派遣を経て社員になったから、最初はメッキ技術や現場を学ぶのが大変だったよね。「菅原さんをすごく頼りにしている」という現場の話をよく聞くよ。

菅原：それは嬉しいですね。僕は前職が食品関係でしたので最初は本当に面食らいましたが、富澤さんから製品知識を教えてもらってとても助かりました。

富澤：メッキの技術や現場を知らないと営業トークもできないから、入社後の一年間は僕も必死になって勉強しました。いろいろ共通項がある二人だけに、今では気の向く飲み友というわけで(笑)。それにしても菅原さんの飲

み会の段取りにはいつも感心するんだ。日程やお店選びなど、幹事をやらせたらピカイチだよね。

菅原：それはそうですよ。毎日あれこれ悩みながら作業の段取りをしているんですから(笑)。楽しいお酒だから、僕も喜んでやらせてもらっています。僕が感心するのは、富澤さんは営業マンだからか飲んでも自分を失わないこと。こんなに一緒に飲んでいても酔った姿を見たことがない。

富澤：ところで、若い子は僕らのようにあまりお酒を飲まなくなったりしたね。会社の行事でも「行かないとだめですか?」って。自分の顔を売るいい機会だと思うんだけどなあ。

菅原：それは僕ら世代の戯言です！(笑)。

Hey, BROTHER!



Brother's Advance

独自の技術、軽合金への「硬質クロム」って？

軽量なアルミの特性に耐久性などをプラスできる独自工法が、軽合金への「硬質クロムメッキ」。精密エンジン部品への活用が期待されています。



Brother's Advance

男女間わいな育休取得実績

女性だけでなく男性社員の2ヶ月間の育休取得の実績も。男女問わず育児に専念できる環境があります。

Scene.

私たち、“キラキラブラザー”。
品質に目を光らせ、
ネコの話題に目を輝かせています。

大橋：メッキは男の世界だと思われがちですが、ブラザーは女性も活躍できる会社です。せっかくの機会ですからしっかりアピールしておきますね。私なんて20年もこの会社に居座っているんですよ(笑)。

横山：私は5年目です。最初は期間限定で働く予定だったのですが、居心地がいいのでそのまま社員にしてもらいました。

大橋：私たちはメッキの前後処理や検査を担当する者同士。品質を維持する上で欠かせない工程だから、とてもやりがいがありますね。

横山：大橋さんは数も種類も多い物をテキパキさばいていて「すごいな！」って、いつも感心しています。ベテランの大橋さんは、私にとって何でも相談できるお姉さんです。仕事のことはもちろん、ネコ好きという共通点もあるから、プライベートでも話題は尽きませんよね。

大橋：横山さんは仕事が丁寧だし正確だから安心しています。私たちが担当している検査や梱包の仕事は、お客様の手元に商品をお返しする最後の工程にあたるので、お客様のニーズにあわせて丁寧に仕上げていきたいですよね。

横山：メッキ前後の処理や検査は直接会社への評価につながりますしね。実際にお客様からのご紹介で新しくお取引が始まることも多いです。

大橋：ウチは業界でトップレベルだけれど、規模としては小さな会社。でも小さいからこそアットホームな雰囲気があって、私には心地いいかな。

横山：同感です！



Hey, BROTHER!

製造部先輩

大橋

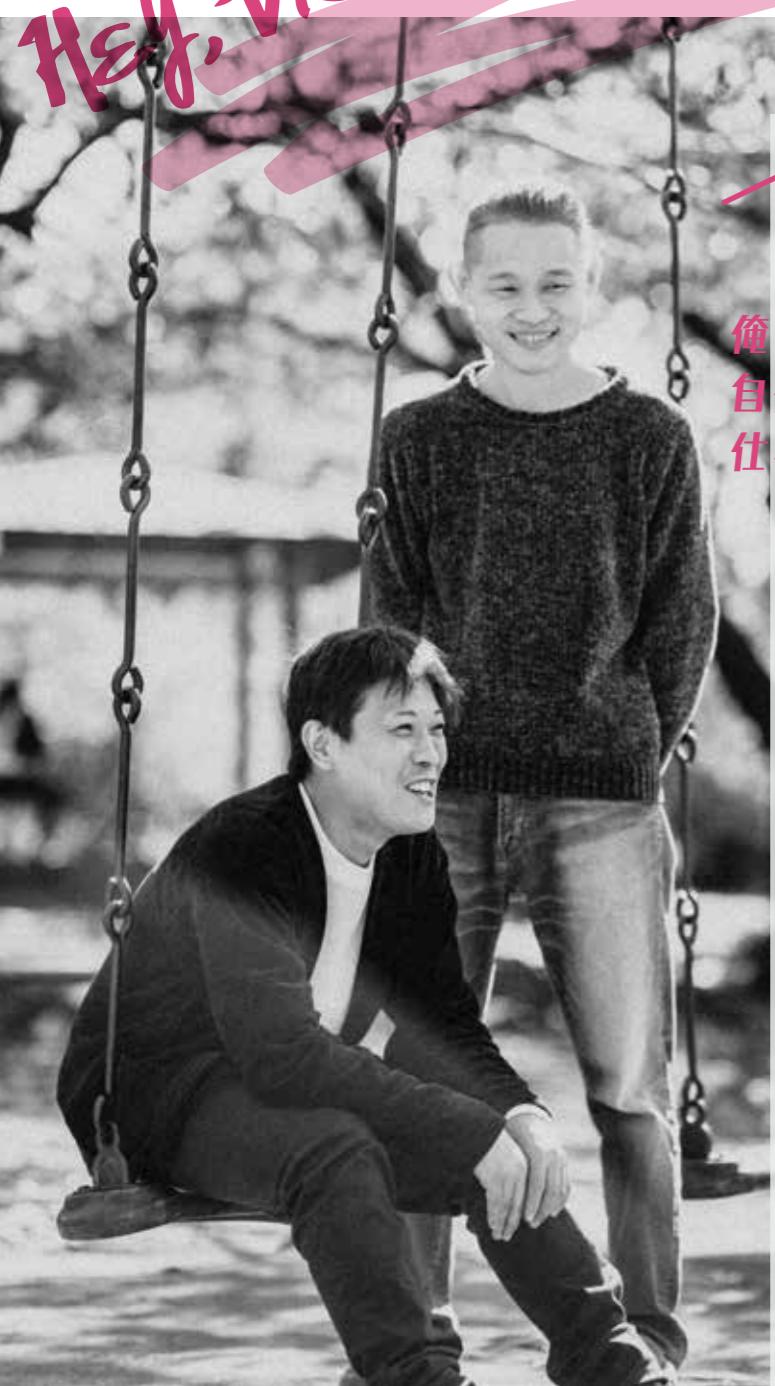


製造部後輩

横山



Hey, BROTHER!



Brother's Advance

ブローザーは自由な社風

- ・形式的になりがちな朝礼はありません。
- ・若手から積極的に有休取得をしています。
- ・髪型・髪色も自由です。



製造部リーダー
猪瀬
X
市川
製造部後輩

Scene. 5

俺たち、“トンガリブローザー”。
自分のスタイルを貫きながら、
仕事は本気で！

猪瀬：僕たちが担当する「セラミックス」は、陶器の一種だから処理の過程で割れたり欠けたりしないように本当に気を使うよね。

市川：一台、何百万円ってしますからね。僕も入社当初はメッキの奥深い技能を身につけるのに苦労しました。

猪瀬：市川は会社員とは思えないヘアースタイルをしているけど、どんな仕事も最後まできっちり仕上げてくれる。だからリーダーの僕としても頼りにしているし、安心して仕事を任せられるんだ。

市川：僕は外見で判断されるのも、縛られるのも苦手だから(笑)。こんな僕でも、やることさえやっていればきちんと認められるのがウチのいいところですよね。作業中は真剣ですが、ひとたび休憩に入ると仲間同士でふざけ合ったり笑いが絶えない自由な雰囲気が気にいっています。ヘアースタイルのせいか僕はトンガって見られるかもしれません、猪瀬さんだって現場ではトンガった感ビンビンですよ(笑)。現場を見回りながら、細かい所への目配りがすごいっていうか、鋭い！

猪瀬：確かに一時は忙しさやリーダーとしての責任感からピリピリしていたかもね。

市川：でも気軽に話しかけてくれるし、後輩の意見を聞きながら仕事を進める猪瀬さんの姿は、僕にとってもお手本なんです。

猪瀬：市川はもう基本はバッチャリだし、新しいことにどんどんチャレンジしてほしいな。自分の幅をもっと広げられるはず。

市川：了解です。で、この際のお願いですが、いくら犬好きでもワンちゃん人形を何匹も置くのはやめてくださいね。控室のスペースが圧迫されますから(笑)。

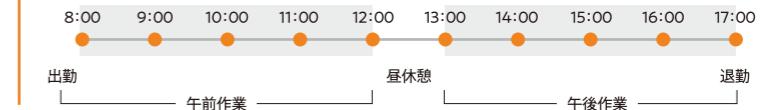
猪瀬：癒やしのひと時を奪わないでくれよ(笑)。



Brother's Advance

ブローザー1日の流れ

基本は17時退勤。従業員それぞれがワーク・ライフ・バランスを実現させています。



Scene. 6

僕らは、“コツコツブローザー”。
地道な努力と信頼と実力を築き上げています。

製造部リーダー
成田
X
米川
製造部後輩

成田：僕は社員の実技トレーナーみたいな役割を任されていて、新人が入社してくると、まず僕のところで技術研修してから各部署へ配属されていきます。素材は鉄、銅、真ちゅうなど千差万別なうえに、小さなモノを中心に月に1万3千個ほどの多品種を扱うから、メッキの基本を学ぶフィールドとして最適なのでしょう。そんな門下生の一人が米川。もう5年くらいになるかな？

米川：そうですね。入社してからずっと成田さんにお世話をっています。僕は人一倍、不器用なうえに物覚えも悪くて。匙を投げられてもおかしくなかったのですが、成田さんが根気よく教えてくれたから、今の僕があります。

成田：確かに、飄々としていたね(笑)。叱った時もあったけれど、それは早く成長してほしいからなんです。そんな米川がちょっと変わったぞ！と思ったのは、半年位違う部署に配属された後、再び僕のところに帰ってきた時。随分逞しくなったと感心したよ。

Hey, BROTHER!



Check it!

あなたもブローザーの
仲間に毎日